

02.1 iBLENDびいすの支援プログラム

— ひとりひとりの「できた」を、ていねいに見つめて —

理念

ひとりひとりの個性を大切にしながら、じっくり寄り添っていく。
小さなグループや個別の療育の中で、
自分で選ぶ力、生きる力を、少しずつ育てていきます。

支援方針

1. 個別性の尊重

一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を提供し、その人らしさを活かせる環境を整えます。

2. 安心できる居場所づくり

安心できる空間でこそ、笑顔や自発的な行動が生まれます。安心感を土台に、自己肯定感を育みます。

3. 家族との連携

ご家庭と密に連携し、子どもの成長をともに支えます。定期的な相談や情報共有を通して、安心できる関係を築きます。

4. 地域とのつながり

地域の人々や機関と協力し、社会参加や交流の機会を広げます。地域に根ざした支援で、見守りの輪を育てます。

5. 自立への支援

子どもの可能性を信じ、将来の自立に向けたスキルを育てます。小さな「できた」の積み重ねが未来をつくれます。

6. 職員の専門性向上

職員一人ひとりが学び続け、支援の質を高めることで、安心と信頼を届けます。

営業時間

9：30～17：30

※送迎あり

本人支援

健康・生活

- 毎日の体温測定と精神状態の確認を行い、心と身体の変化に気づく支援を。
- 視覚的なレイアウトや掲示で、安心できる空間づくりを。
- 生活リズムの確立、基本動作の習得、社会性の芽を育てる活動を行います。

「今日はどんな一日だった？」と、ゆっくり声をかける時間を大切にしています。

運動・感覚

- 音楽に合わせて体を動かすリズム運動やボルダリング活動。
- 微細運動・粗大運動を通して、日常に必要な身体スキルを身につけます。
- 感覚に配慮した空間づくりや補助機器の活用により、快適に活動できる環境を整えます。

認知・行動

- 視覚・聴覚・触覚など、五感を活かした療育で「わかる」「できる」を増やしていきます。
- 空間・時間・色・数などの概念を遊びの中で身につけ、理解を深めます。

- プログラミングやブロック遊びなど、興味に応じた活動で集中力と創造力を育てます。
- 外出や季節の活動を通して、感性と自己肯定感を育みます。

言語・コミュニケーション

- その日の気持ちや考えを言葉や絵、写真で表現する練習を行います。
- グループ活動を通して、伝える力・聞く力・相手を思いやる力を育てます。
- 絵カードやタブレット機器などを活用し、意思の伝達ができる環境を整えます。

言葉だけでなく、表情やしぐさも大切な「ことば」。
わたしたちはそのすべてを受けとめながら、寄り添います。

人間関係・社会性

- アタッチメント（信頼関係）を育む関わり。
- 模倣遊びやごっこ遊びなど、他者とのやりとりを通して社会性を育てます。
- 一人遊びから、並行遊び、共同遊びへと発展する支援を行います。
- イベントや地域交流を通して、人との関係づくりを体験します。

家族支援

- ご家庭での子育てや生活に役立つ情報を共有し、安心して向き合えるようサポートします。
 - お子さんの成長や変化を共に喜び合い、家庭と事業所が一体となって見守ります。
-

地域支援・連携

- 関係機関・地域団体との連携を強化し、支援のネットワークを構築します。
- 地域行事への参加や共同イベントを通して、子どもたちの社会参加を応援します。
- 「まちの中で育つ福祉」をテーマに、地域に根ざした活動を展開しています。

移行支援

- 子どもが次のステージへスムーズに進めるよう、個別の移行支援プランを作成します。
- 学校や社会との接点を広げ、自立に必要な基礎スキルを育てます。
- 将来を見据えた支援を通じて、「できること」を自信につなげていきます。

職員の質の向上

- 定期的な研修や勉強会を開催し、専門性を磨き続けます。
- 支援の振り返りや共有を重ね、より良い実践につなげています。
- 一人ひとりの子どもに寄り添う「ていねいなまなざし」を職員全員が大切にしています。

主な年間行事

月	行事内容
4月	お花見

月	行事内容
6月	買い物外出
7月	夏祭り
8月	ファミカフェ
10月	ハロウィンパーティー
11月	電車遠足
12月	クリスマス会
1月	初詣
3月	卒業・進級を祝う会

季節の行事は、子どもたちの笑顔がいちばん輝く日。
家族や地域といっしょに、思い出を重ねていきます。